

I 学校概要

1 学校名，位置および設置学級数

(1) 校名 沖縄県立 開邦中学校・高等学校

(2) 位置 沖縄県島尻郡南風原町字新川 6 4 6 番地

(3) 中学校

① 設置形態 併設型

② 設置学級数 1 学年 2 学級 80 人

③ 通学区域 県全域 (学生寮はなし)

(4) 高等学校

① 設置学科 全日制課程：学術探究科，学術文科，学術理科，芸術科(音楽コース・美術コース)

② 定 員

1 学年 学術探究科 200 名 (5 学級)

芸術科 40 名 { 1 学級 (音楽コース 20 名・美術コース 20 名) }

2 学年 学術文科・学術理科 200 名 (5 学級)

芸術科 40 名 { 1 学級 (音楽コース 20 名・美術コース 20 名) }

3 学年 学術文科・学術理科 200 名 (5 学級)

芸術科 40 名 { 1 学級 (音楽コース 20 名・美術コース 20 名) }

II 校訓

「開 邦 雄 飛」

「邦を開き世界に羽ばたく人材を育成する」という本校創立の理念を込め、当時（本土復帰後第三代）の沖縄県知事 西銘 順治 氏により書された語。その書は現在も校内で大切に保存されている。生徒達が県内のみならず国内外で活躍することを願い、平成十七年度に校訓として制定した。

III 校章



花の蕾と正方形を組み合わせたデザイン。
開くことの期待と希望，そして雄志に燃える
若者の限らない可能性と，豊かな知性の力を
結実させる内なる象徴。それが，蕾と正方形。
(デザイン) 高良 松一
(創立時 美術科教諭)

IV 教育目標

1 教育目標

科学技術及び芸術・文化を愛し、継承発展に寄与し、平和で安らぎと活力ある郷土及び世界の形成者になるため、校訓「開邦雄飛」を具現化し、常に向上心を持ち積極的な態度で次の目標達成のために努力しなければならない。

(1) 自己肯定感・自己効力感の高揚

自己理解を深め、様々なことに挑戦することで、自分のよさや可能性を認識する。

(2) 自走力の育成

己を律しつつ自立し、個性に応じて将来の進路を実現するために自ら主体的に学習に取り組む力を育成する。

(3) 課題発見力・批判的思考力・創造力の育成

社会の発展のために、常に課題意識を持ち、特定した課題を分析して、幅広い視野から最適解を導くことのできる批判的思考力及び創造力を育成する。

(4) 探究力の育成

物事の原理や真理を探究し続け、本質的な学びに向かい続ける姿勢・態度・心情を育成する。

(5) 思いやる心の育成

高い規範意識と道徳性を養い、他者の立場に立って考え、その心情を尊重して行動できる力を育成する。

(6) 相互理解力の育成

郷土文化に対する誇りと他文化に真摯に向き合うことのできる教養を身につけ、多様な価値観や芸術・文化を重んじる豊かな感性及び国際性を育む。

2 目指す教職員像

(1) 指導の方向性を一致させ、生徒の確かな学力の向上、自律的な生活態度の育成、希望進路を実現させるために協働体制をとることができる教職員。

(2) 互いに支え合い、学び合い、高め合う誠実で寛容な教職員。

(3) 社会変化に応じて必要とされる資質能力の向上に取り組み、学び続ける教職員。

3 学校経営目標

(1) 開邦スタンダードの実現

現役での国公立大学合格率 70%以上、難関 10 国立大学合格者 40 名以上、特に東京大学・京都大学合わせて 5 名以上、九州大学 10 名以上、国公立大学医学科合格者数 10 名以上、東京藝術大学合格者数 3 名以上の達成を図る。

(2) 質の高い授業実践と教科マネジメントの実施

① 主体的・対話的で深い学びのある授業を実践し、考える力・表現する力を育成する。

② 中学校における探究活動と高校における科学探究・文科探究・芸術探究の充実を図る。

③ 適切な課題・補習・面談を実施して、自学自習を促し、家庭学習時間の増加に努める。

④ 教科会を通して、生徒の実態の把握と、それを踏まえた授業改善に取り組む。

⑤ 大学入学共通テストの問題分析を通して、授業改善に繋がる研究を行う。

⑥ 中高 6 年間を見据えた教育計画・内容の P D C A を図る。

⑦ I C T 機器（1 人 1 台端末）を活用し、生徒の主体的・協働的な学びを作り出す授業改善に努める。

⑧ 学習指導要領及び観点別評価についての研究と実践を推進する。

(3) 輝かしい実績の周知・徹底および高い志と学力を育む本校の魅力を発信

① 学校説明会の改善充実を図る。

② 中学校説明会、中学校訪問やオープンスクール等を実施し、本校の情報を提供するとともに P R に努める。

- ③ 学校ホームページを活用し、生徒の活躍、学校教育の情報を積極的に発信する。
- (4) キャリア教育及び進路指導の充実・強化
 - ① 「開邦スタンダード」実現のために、各種講座、面接・小論文指導の充実及び対外模試等を実施する。
 - ② 生徒の能力・適性等の把握に努め、二者面談・三者面談・進路検討会等を活用し、最後まであきらめさせない指導を継続する。
 - ③ 各種データベースにより生徒の情報を共有し、全職員があらゆる場面で生徒を激励する。
 - ④ 学年会を充実させ、高い目標に向かってチャレンジする気概を育成する。
 - ⑤ 「職業人講話」、「職場体験（中学）」等を実施し幅広い視野から職業観を育成する。
 - ⑥ 「総合的な探究の時間」の改善充実を図り、自発的、探究的な姿勢を育成する。
- (5) 生徒指導・教育相談の充実・強化
 - ① 生徒に寄り添う指導、生徒と向き合う指導を通して、自律的な生活態度の育成を図る。
 - ② 「凡事徹底」を推進し、基本的な生活習慣の確立に努める。
 - ③ スマートフォン使用のルールとマナーの涵養とSNSの危険性を熟知させる。
 - ④ 生徒会活動・委員会活動を支援し、自治意識の向上と自主的・自律的な活動を充実させる。
 - ⑤ 心の健康の維持・増進を図るため、職員間の情報共有と緊密な連携を図り、スクールカウンセラーを活用した教育相談の充実を図る。
- (6) 特別活動の充実
 - ① 心の拠り所となり自尊感情が得られる学級活動・HR活動の充実を図る。
 - ② 学校行事等を充実させ、自主性、協調性、連帯感の育成に努める。
 - ③ 規律ある部活動を奨励し、学年を超えた友情や仲間意識を育成する。
 - ④ 県教育委員会のグローバル短期研修事業や留学事業の活用や海外研修旅行等を実施し、異文化理解を深め、グローバルに活躍する人材の育成に努める。
 - ⑤ 図書館の充実を図り、読書活動を推進する。
- (7) 道徳教育の推進と心豊かな生徒の育成
 - ① 道徳教育は、年間指導計画に基づき、学校教育活動全体を通して行うように努める。
 - ② 人権の意義や重要性を認識させるとともに、いじめの未然防止、早期対応に取り組む。
 - ③ 自らの生き方・在り方を考えさせ、思いやりや感謝する心を育む。
 - ④ 郷土の文化や芸術に親しみ、感性を豊かにすると共に、共感力や創造力を育む。
- (8) 安全教育の充実・強化
 - ① 学校全体を通して危機管理を徹底し、施設設備の安全点検、防災訓練等を実施する。
 - ② 登下校時における安全指導を徹底し、交通マナーの向上に努める。
 - ③ 備品、薬品の管理を徹底すると共に、授業、学校行事、部活動中の事故防止に努める。
- (9) 開かれた学校づくりの推進
 - ① 地域社会の教育資源を活用した教育活動を行うため、外部機関との連携及び外部人材の活用を推進する。
 - ② PTA活動を充実させ、学校評議員等の活用を図り、地域の信頼関係を構築する。
- (10) 校務処理の効率化と働き方改革の推進
 - ① 校内LANや教育機器の有効活用に努め、文書や情報の共有化を図る。
 - ② 文書情報のデジタル化を推進し、施設や備品の効果的な活用を図る。
 - ③ 法令に基づいた予算執行及び適正迅速な文書処理に努める。
 - ④ TimeNetsを活用し、各自勤務時間を管理し、働き方改革・健康維持増進に取り組む。
- (11) 施設・設備の改善・充実
 - ① 校舎改築に向け、各備品の整理・廃棄を実施し、新校舎への移転作業ができるように準備を進める。
 - ② 青藍寮の計画的な改修を行い、寮の生活環境向上に努める。
 - ③ 校内美化・緑化を推進し情操豊かで潤いのある学習環境づくりに努める。

V 校歌

校 歌

作詞 中村 準
(初代校長)
作曲 富原 守哉
(創立時 音楽科教諭)

♩=96 力強く

しゅ り じょ う ひ が し の べ ん が だ け

よ も の な が め も さ え わ た る ふ る

き み や こ を し の ぶ べ に す が

た ぞ い ふ う ど う ど う と か い

ほう ちゅう が く そ び え た つ

三

二

一

開 宇 四 邦 潮
邦 宙 海 を の
中 無 を 巡
学 限 越 る
(に え の
高 て 我
校 進 意 が
) ま 満 気 郷
 ン タ 土
 久 と に ぎ
 に る
 あ れ

開 真 心 つ 使
邦 理 身 ど 命
中 の き た う あ
学 翼 た 友 ふ
(え 垣 る
高 広 道 熱 我
校 げ 究 も が
) ン と め ゆ 学
 光 あり 舎

開 姿 古 四 首
邦 ぞ き 方 里
中 威 都 の 城
学 風 を 眺 東
(堂 々 め の
高 と 偲 も 弁
校 辺 冴 ケ
) に え 嶽
 聳 わ
 え た たる
 つ

VI 学校施設の概要

1 教室配置図

4F	音楽個人レッスン室11室	楽器庫	音楽大ホール	
	ルーフトラス	音楽教室	準備室	音楽大ホール
5F	物理実験教室	準備室	数学演習教室	準備室
	物理教室	LL教室	社会科教室	電算教室
6F	絵画室	準備室	化学実験教室	WC
	総画教室	準備室	デザイン教室	WC
7F	生物実験教室	準備室	地学教室	電気室
	生物教室	美術教室	立体造形教室	WC
8F	技師教室	準備室		

廊下	WC男
	WC女
	印刷室
	生徒会
	多目的 B
廊下	多目的 A
	進路指導 室
	相談室

[illegible][illegible]

中学部棟

体育館

プール

駐車スペース

2階

1階

D棟

B棟

校長室

事務室

視聴覚教室

準備室

多目的C

高校 3年1組

高校 3年2組

高校 3年3組

高校 3年4組

高校 3年5組

高校 3年6組

W

C

女

準備室

調理実習室

高校 2年1組

高校 2年2組

高校 2年3組

高校 2年4組

高校 2年5組

高校 2年6組

W

C

男

スロース

問 正

2 図 書 館

- (1) 施設 閲覧室 314.6 m² 机 (12 脚)・椅子 (60 脚)・キャレルデスク (12 台)
事務室 24.8 m²

(2) 蔵書 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

分 類	K	000	100	200	300	400
項 目	郷土資料	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学
冊 数	1,652	797	1,075	1,733	3,147	3,276
分 類	500	600	700	800	900	合計冊数
項 目	技 術	産 業	芸 術	言 語	文 学	現在数
冊 数	1,000	481	2,733	1,303	8,794	25,991

新 聞 (5 種)

- ① 沖縄タイムス ② 琉球新報 ③ 朝日新聞 (東京版)
④ 読売新聞 (東京版) ⑤ the japan times

雑 誌 (26 種)

(3) 図書館利用のきまり

- ① 土足厳禁。
- ② 鞆の持込み禁止。入口棚を利用する。
- ③ 飲食物持ち込み厳禁。
- ④ 携帯電話等の使用禁止。
- ⑤ 館内では静かに過ごす。
- ⑥ 図書を借りる場合は貸出手続きを行う。(1 人 3 冊 休日前 5 冊)
- ⑦ 図書は期限内に返却する。(貸出期間 1 週間)

(4) 主な年間行事

- 1 学期 新入生図書館利用オリエンテーション
「子ども読書週間」企画展
6.23 慰霊の日特設展
- 2 学期 国語科・芸術科美術コース・図書館主催 読書感想文・感想画コンクール
読書旬刊特設展
- 3 学期 生徒作品集『雄飛』発刊・蔵書点検
※「図書館だより」毎月発行

(5) 令和5年度 読書活動推進年間計画

月	目 標	活 動 内 容	図 書 委 員 会
4 月	・読書を通して、高校生活を見つめさせる。	・新入生図書館オリエンテーションの実施	・委員会発足～役員決め
5 月	・個人年間読書目標を立てさせる。	・図書館利用案内の配布	・図書館便り発行 (1号～2号)
	・読書活動推進のために各部・教科との協力体制を確立する。 (集団読書活動の推進)	・「子ども読書週間」に向けた取り組み	・購入希望図書のとりまとめ
	・身近なことへの問題意識を持たせる。	・図書購入計画の作成・発注	
		・図書委員会の発足	
		・図書館の環境整備	
		・小論文関係の書籍紹介	
6 月	・読書を通して、改めて平和や命の大切さについて考えさせる。	・慰霊の日特設展の実施	・図書館便り発行 (3号～4号)
7 月	・夏季休業中の読書活動を考えさせる。 (集団読書活動の推進)	・小論文関係資料目録の作成	・慰霊の日特設展企画・運営
		・夏季休業中の読書活動を進めるための展示・広報	・課題図書の紹介
		・読書感想文・画コンクールに向けた取り組み	
9 月	・沖縄方言関係の図書に親しませる。方言について興味関心を持たせる。	・「しまくとぅばの日」に向けた取り組み	・図書館便り発行 (5号～6号)
10 月	・人生を豊かにする読書を考えさせる。	・校内読書旬間に向けた取り組み	・校内読書週間の企画・運営
	・生徒の読書実態調査を行い、読書指導につなげる。	・生徒対象の読書実態調査	
	・校内読書旬間の充実を図る。 (集団読書活動の推進)	・校内ビブリオバトルの実施	
		・芸術鑑賞に関連した取り組み	
11 月	・沖縄関係図書に親しませ、郷土について興味関心を持たせる。	・職業観を高める取り組み	・図書館便り発行 (7号～8号)
12 月	・将来の進路について考えさせる読書活動を進める。 (集団読書活動の推進)	・生徒作品集『雄飛』発行に向けた取り組み	
	・海外文化に親しませる。	・海外研修に関連した館内展示	
1 月	・韻文を読み、親しみを持たせて感受性を育む。	・百人一首や漢詩の展示	・図書館便り発行 (9号～11号)
2 月	・現代文学作品に親しませる。	・芥川賞・直木賞に関連した取り組み	・返本の呼びかけ
3 月	・1年間の読書活動を振り返らせる。 (集団読書活動の推進)	・蔵書点検・備品点検	・1年間の委員会活動の反省・総括
		・図書の返本督促	
		・生徒作品集『雄飛』の発行	
		・反省・総括	